

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

●若手会員による情報交流会を開催しました

会員間の連携強化と異業種交流を進めるため、令和5年9月8日（金）にホテルグランヴェール岐山で「若手会員による情報交流会」を開催したところ、7社から16人が参加がありました。

はじめに、各参加者から自己紹介と業務内容や最近の出来事、日頃から気になっていることなどを公私に関係なく自由に話していただきました。

例えば、ツリーハウスを活用した森林空間利用の取組みや、山村地域の活性化に向け一民間林業事業者としてではなく地域の一員として取り組んでいること、イベントへの参加募集、自社の事業説明など、様々な取組みの紹介がありました。

その後、懇親会では、参加者同士で打ち解け合い、これまでは関係性がなかった企業間の交流が深められるなど、参加者からは「この企画は面白い」「次回も是非参加したい」など好意的な感想が寄せられました。

こうしたことから、引き続き若手会員による情報交流会が開催できるよう進めてまいります。



発起人((有)根尾開発小澤代表取締役)あいさつ



●活動報告会を開催しました

令和5年10月17日、森林文化アカデミーにおいて令和4年度における4つの委員会の活動報告会を開催しました。

出席者からは、研修会の再企画や今後の研究結果に期待する声がありました。いただいた意見等を参考にしながら活動を実施してまいります。



発表の様子

<主な活動報告>

【新たな森林経営委員会】

林業労働安全対策研修会では、「チェーンソー操作研修」にてJLC（日本伐木チャンピオンシップ）の基準を用いて、受け口・追い口の形成や伐倒方向を点数化し自分の技能を確認して安全な伐木の学び直しをすることができました。

また、鹿児島大学から講師を招き、作業の効率化や収益性を考慮した現場管理の研修を開催し、事業体の目標事業量と個別事業との関係や収支の構造と事業体会計の関係を学ぶことができました。

【森林整備・育成委員会】

森林サービス産業創出検討会では、東白川村の森林レンタル「forenta」のキャンプサイトを視察し、管理方法や利用客の動向など意見交換を行いました。また、ツリーハウス建設を手掛けている講師を招き、ツリーハウス建築にあたっての留意点、選木方法を学び、実際にツリーハウスの建築を体験してノウハウを学びました。

【木材生産改善委員会】

林業機械活用検討会では、林業仕様トラック日野デュトロ「吉野EDITION」(4WD・3t)の走行試験を行い、参加者にも運転を体験してもらい「小回りが利くため林内での切り返しも必要なく安定した走り」という感想もありました。また、「奈良県吉野地域の林業現場に合わせた仕様なので、4本スタンションにして2m材を積めるようにしてほしい」、「積載量を増やしてほしい」などの改善意見もありました。

【木材利用拡大委員会】

広葉樹活用検討会では、県産広葉樹集荷体制の構築を目指し、広葉樹の集荷について関係事業体と意見交換を行い出荷情報の収集を進めています。今後は、家具等に活用できる樹種を増やしていくため、強度試験等を進めて取扱い樹種を拡大していく予定です。

●日独木造建築シンポジウム及びドイツ木造建築視察の報告

講師：岐阜県立森林文化アカデミー 木造建築 教授 辻 充孝氏
教授 小原 勝彦氏

岐阜県立森林文化アカデミーの教授が本年5月に参加された日独木造建築シンポジウム及びドイツの木造建築視察の内容について、海外視察報告会を開催しました。

辻教授からは、5月11日にドイツのバーデン＝ヴュルテンベルク州のロイトリンゲンにて行われた日独木造建築シンポジウムの報告と、視察したバウビオロジー（建築生物学）研究所や省エネルギー住宅のパッシブハウスのお話をいただきました。

小原教授からは、ドイツ北部のハノーファで開催された林業・木工機械展L I G N A 2023で展示されていた林業機械や製材加工機などについて紹介いただきました。

※視察内容については <https://www.forest.ac.jp/academy-archives/baubio-germany/>



●新たな法面緑化工法（BSC工法）の試験地状況について

令和3年10月29日に(株)日健総本社と、たかやま林業・建設業協同組合の協力を得て、高山市久々野地内でBSC工法の試験施工を行いました。BSC工法は、土壌藻類を活用した法面緑化（令和3年度 かわら版30号掲載）で施工から2年程度経過した現地では、草本類、木本類の侵入が多く確認されました。

※ BSC 工法 について … <https://bsc-method.com/>



令和3年10月29日施工(北向き切土法面)



令和5年8月31日(北向き切土法面)



令和3年10月29日施工(南向き盛土法面)



令和5年8月31日(南向き盛土法面)

南向き切土法面は他の2箇所比べると草本、木本類の侵入は少ないですが、表面侵食はなく、順調にBSC形成が進んでいることを確認しました。

今後もこの試験施工箇所については継続的に確認して効果について検証するとともに、新たに崩壊防止や緑化が必要な個所で実証試験地を設定して検証することとしていますので、結果については適宜、会員の皆様にも共有させていただきたいと思っております。



令和5年8月31日(南向き切土法面)

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）
〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529
E-Mail: gifu.shinrin.conso@forest.ac.jp